

# 『CSPC Collection Platform Software Installation and Configuration Guide』

## [概要](#)

[CSPC Collection Platformソフトウェアの概要](#)

[インストールおよび設定](#)

[OVAのインストール](#)

[ESXiパッチインストール](#)

[CSR1000V NAT OVAのインストール](#)

[CSR1000vのアップグレード](#)

[CIMCパッチインストール](#)

[NOS設定者](#)

## 概要

このガイドでは、CSPCサーバのインストールおよび設定方法について説明します。アプリケーションを使用するには、『CSPCユーザガイド』を参照してください。

プログラムのアップデートと重要な注意事項については、CSPCリリースノートとREADMEドキュメントを参照してください。

## CSPC Collection Platformソフトウェアの概要

Cisco Common Service Platform Collector(CSPC)は、SNMPベースのツールで、ネットワークにインストールされているシスコデバイスの情報を検出して収集します。CSPCソフトウェアは、お客様のデバイスデータのさまざまな側面を収集するための広範な収集メカニズムを提供します。コレクタによって収集された情報は、Smart Net Total Care、パートナーサポートサービス、ビジネスクリティカルなサービスなど、シスコの複数のサービスで使用されます。このデータを使用して、インベントリレポート、製品アラート、設定のベストプラクティス、テクニカルサービスの適用範囲、ライフサイクル情報、およびハードウェアとオペレーティングシステム(OS)ソフトウェアの両方に関するその他の多くの詳細なレポートと分析が提供されます。

### このガイドの対象者

このガイドは、ネットワーク管理者およびセキュリティ管理者とシスコネットワークエンジニア、ならびに新規ユーザを対象に作成されています。

CSPCをインストールするには、マシンの管理者権限が必要です。

## インストールおよび設定

CSPCサーバイメージには、サーバソフトウェア、データベース、および必要なすべてのツールで構成されるプリロードされたアプリケーションが付属しています。

## OVAのインストール

このセクションでは、さまざまなインストール段階での詳細なインストール手順について説明し

ます

## 前提条件

CSPCソフトウェアの導入、インストール、および設定を中断せずに行うには、次の準備を行います。

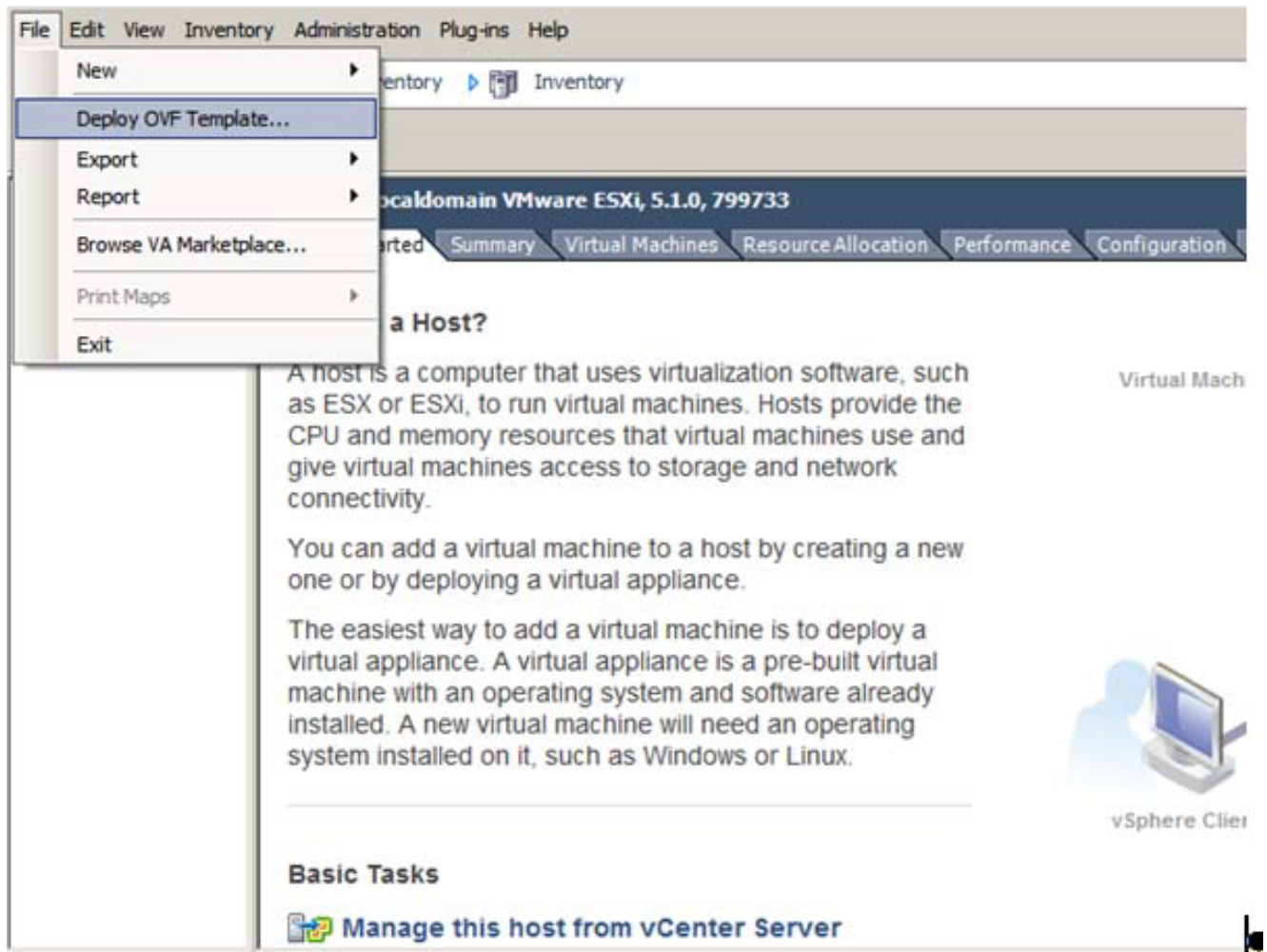
- ダウンロードセンターのxxx.ova[ファイル](#)
- CSPC静的IPアドレス、デフォルトゲートウェイIPアドレス、およびサブネットマスクの使用。これは、DHCPが有効になっていない場合にのみ推奨されます。

## CSPC OVAの導入

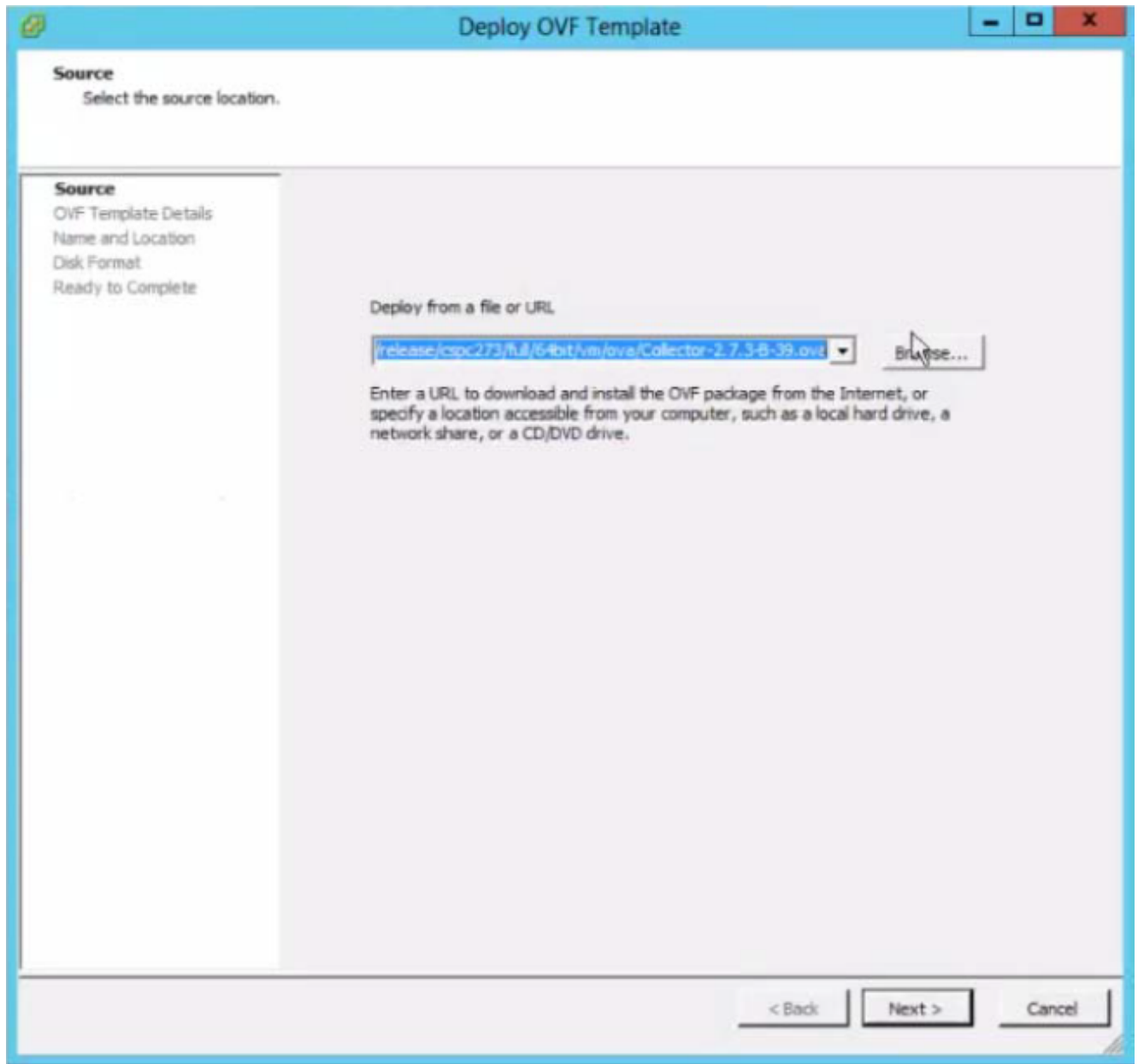
このセクションでは、VMWare vSphere Clientを使用してCSPC OVAを導入する手順について説明します。

1. vSphereクライアントが使用可能なWebサーバまたはローカルファイルシステムにxxx.ovaファイルを取得します
2. vSphereクライアントを起動し、OVAファイルを展開する権限を持つクレデンシャルを使用してログインします
3. vSphereクライアントを使用して、CSPC仮想マシンを管理するESXiホストまたはIPアドレスを選択します
4. vSphereクライアントを使用し、[File]メニューを選択してから、[File]メニューに表示される[Deploy OVF Template...]メニュー項目を選択します。
5. 導入するOVFファイルを選択する方法は2つあります。
  - Webブラウザを使用して、ローカルまたはリモートWebサーバにあるOVFファイルを選択します。このオプションを使用する場合は、ファイルxxx.ovaのURLを入力し、Nextをクリックします。
  - ファイルエクスプローラを使用して、ローカルにあるOVFファイルを選択します。このオプションを使用する場合は、[Browse...]をクリックし、ファイルエクスプローラでファイルxxx.ovaを探し、[Next]をクリックします。

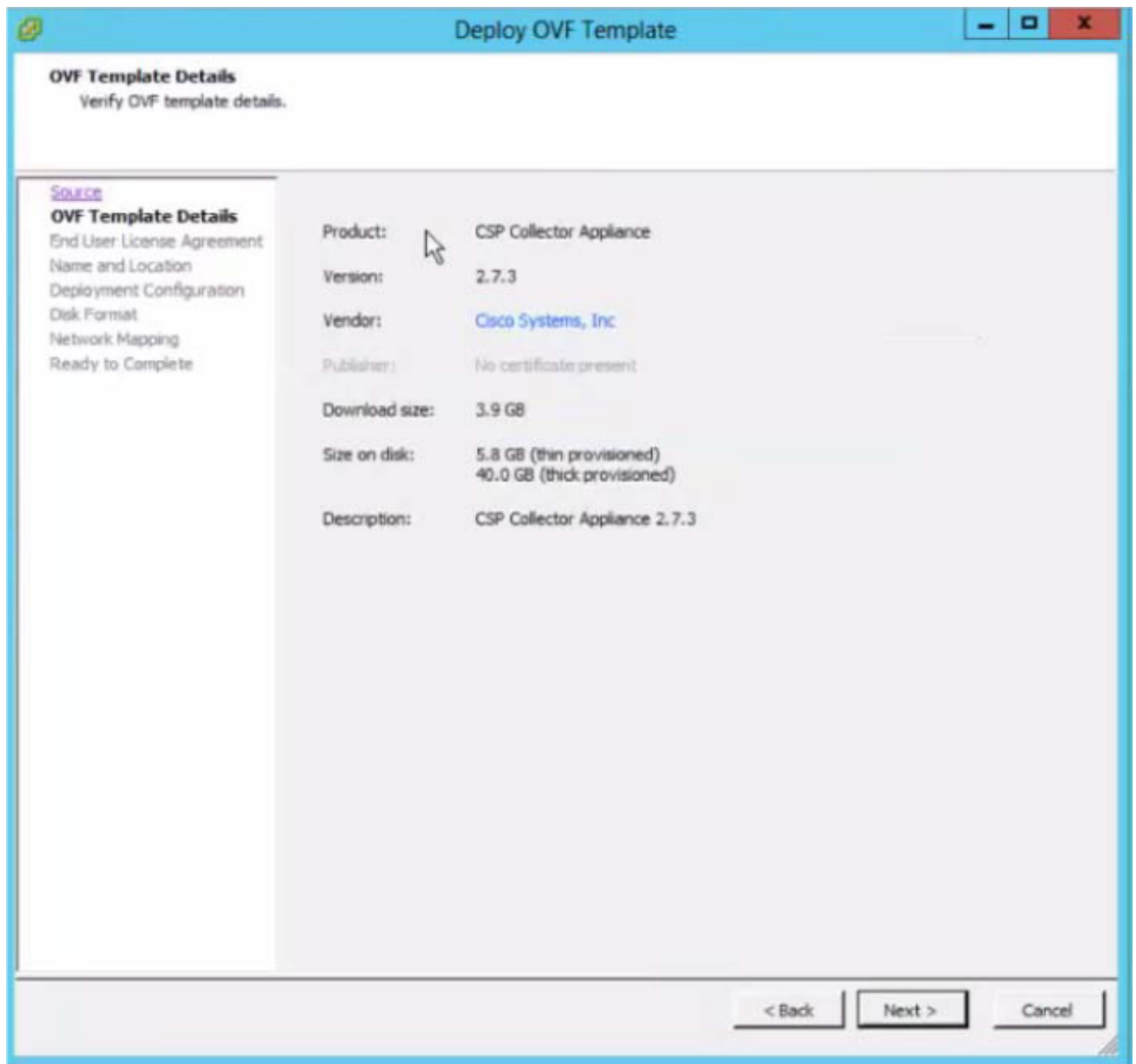
注：以下の画面はすべて説明用であり、実際の画面ではありません。



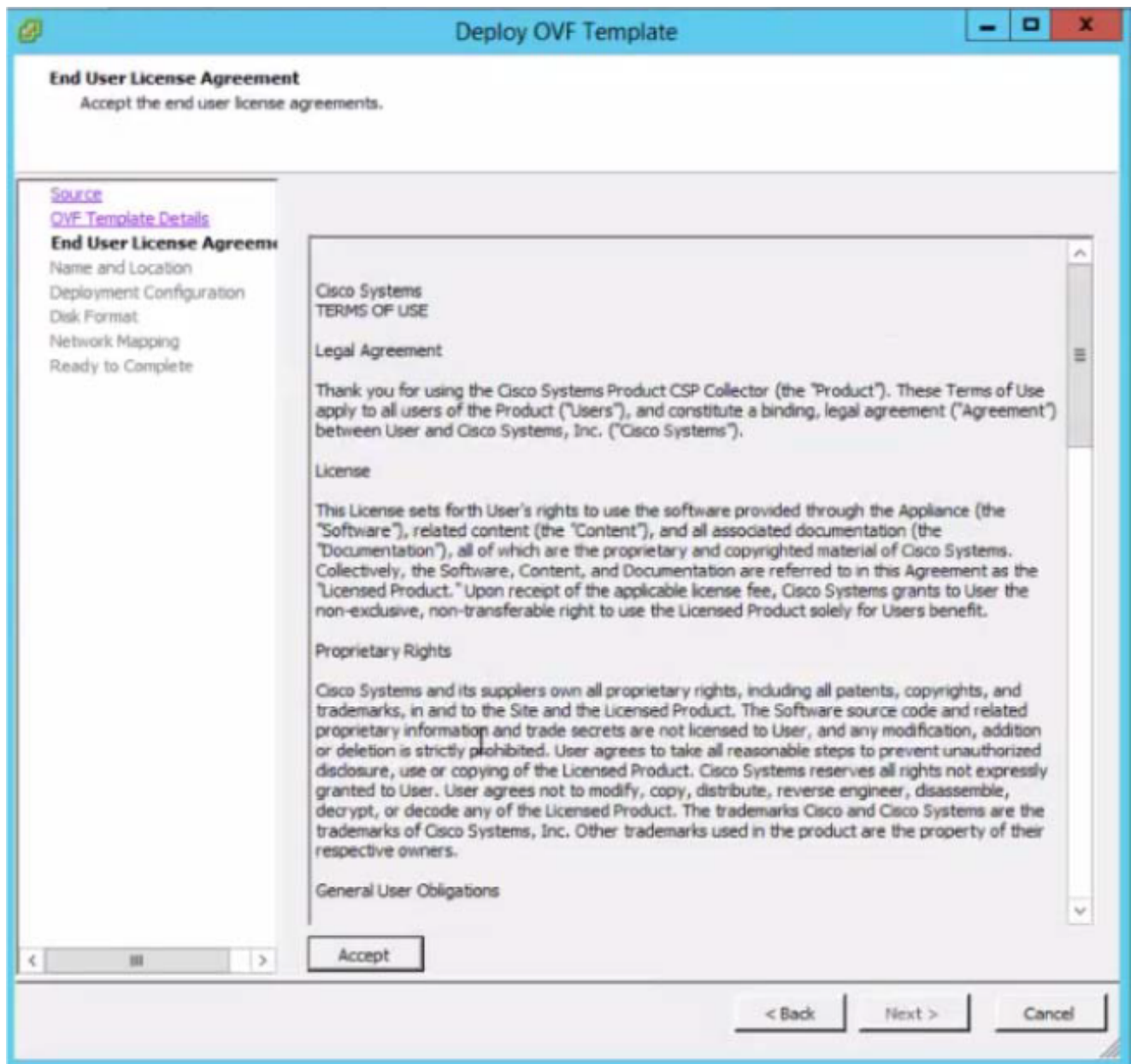
6. URLを参照して選択し、[Next] をクリックして続行します。



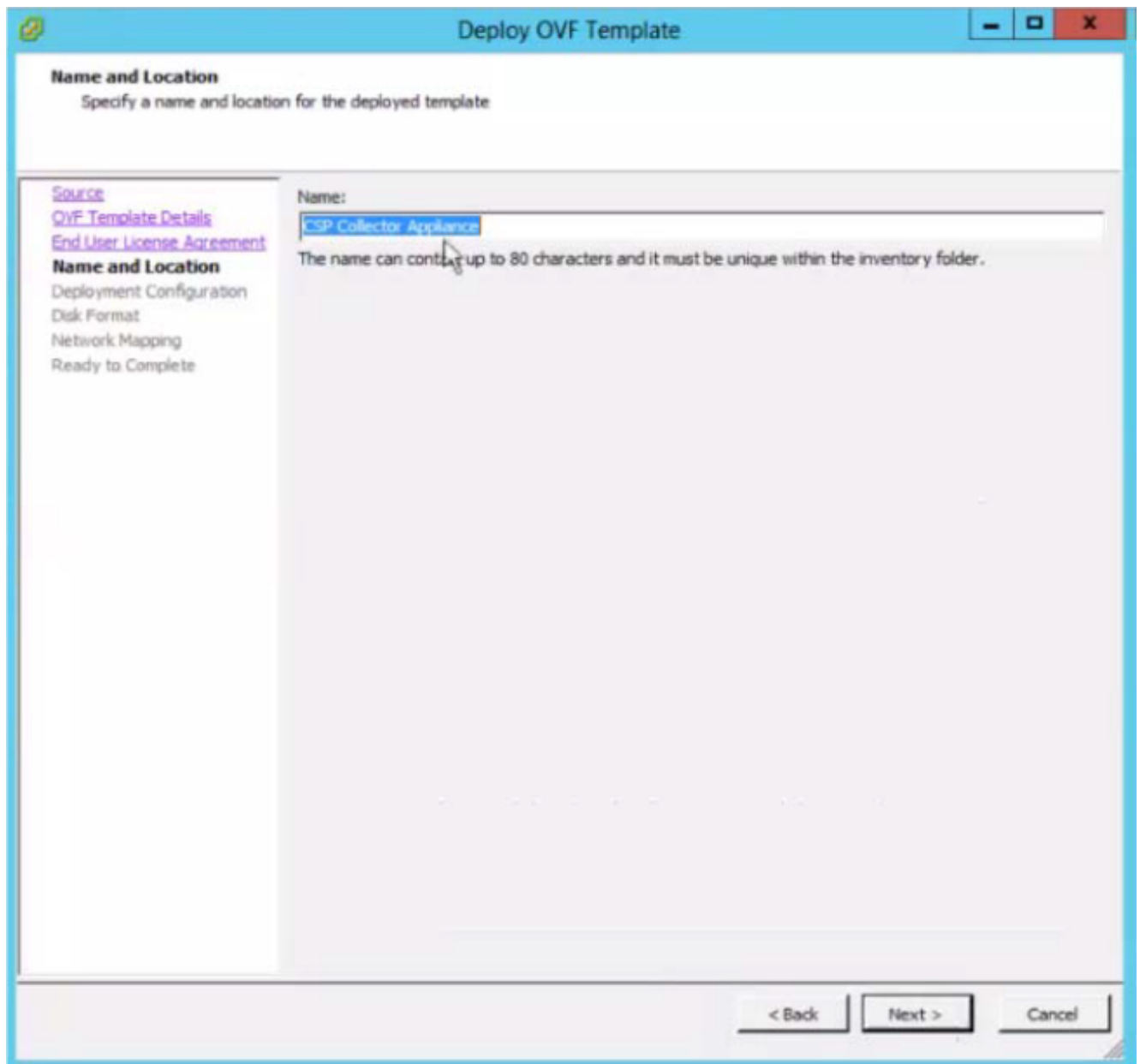
7. Next をクリックして続けます。



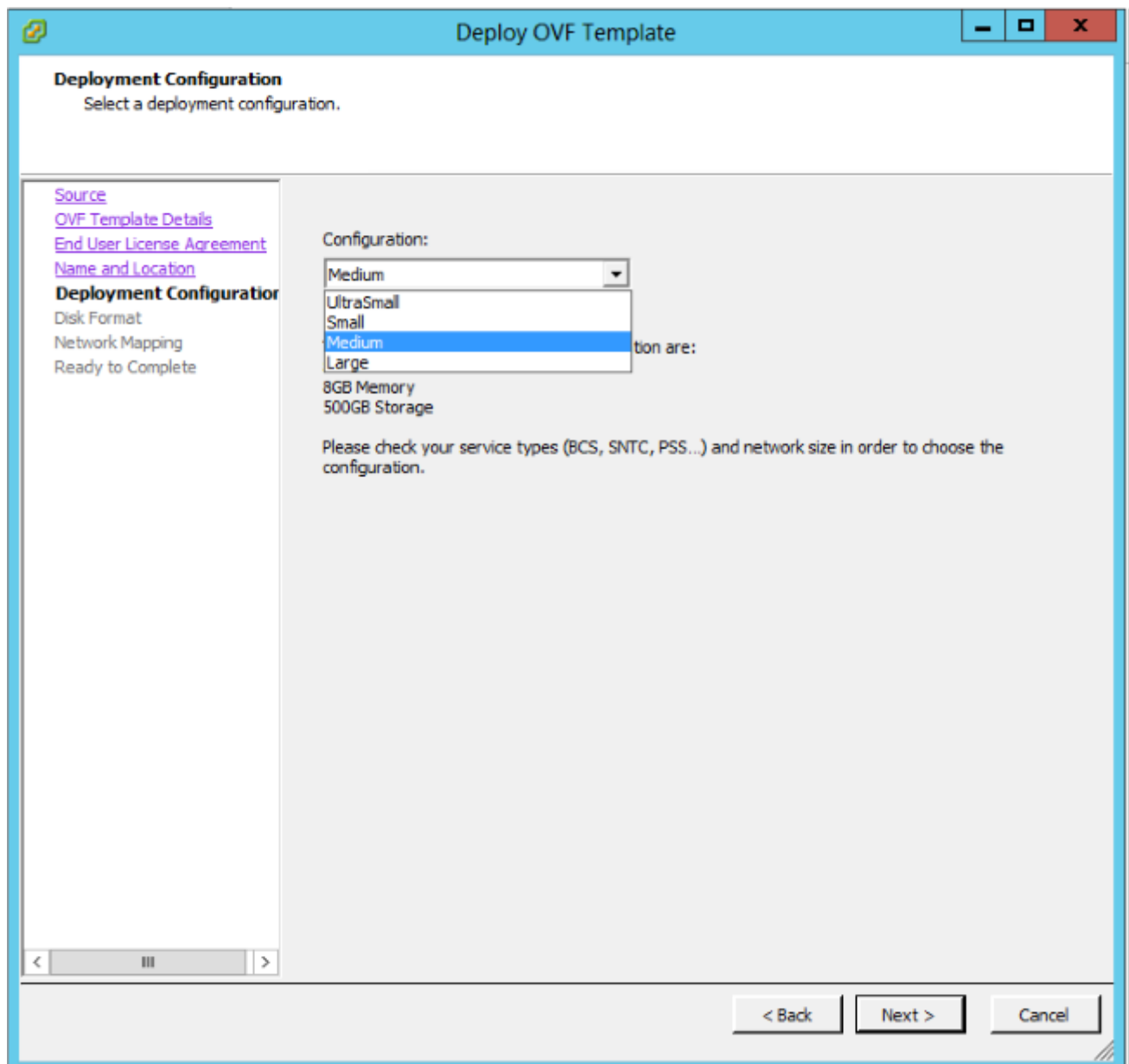
8. [Accept] をクリックして、エンドユーザ契約を確認します。



9. 仮想マシンを保存する適切なストレージを選択し、[Next] をクリックして続行します。

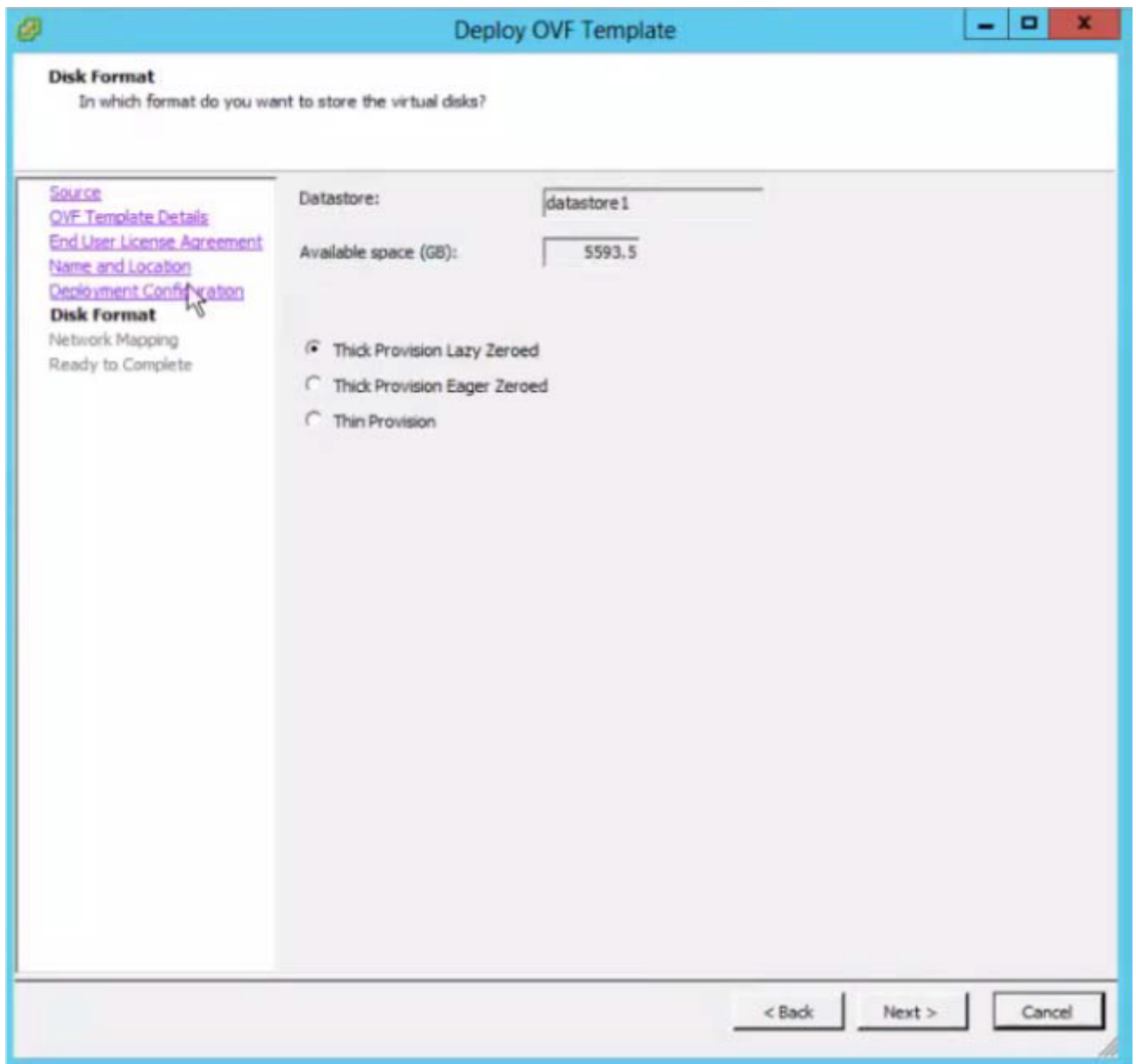


10. 必要な設定を選択し、**Next**をクリックします。

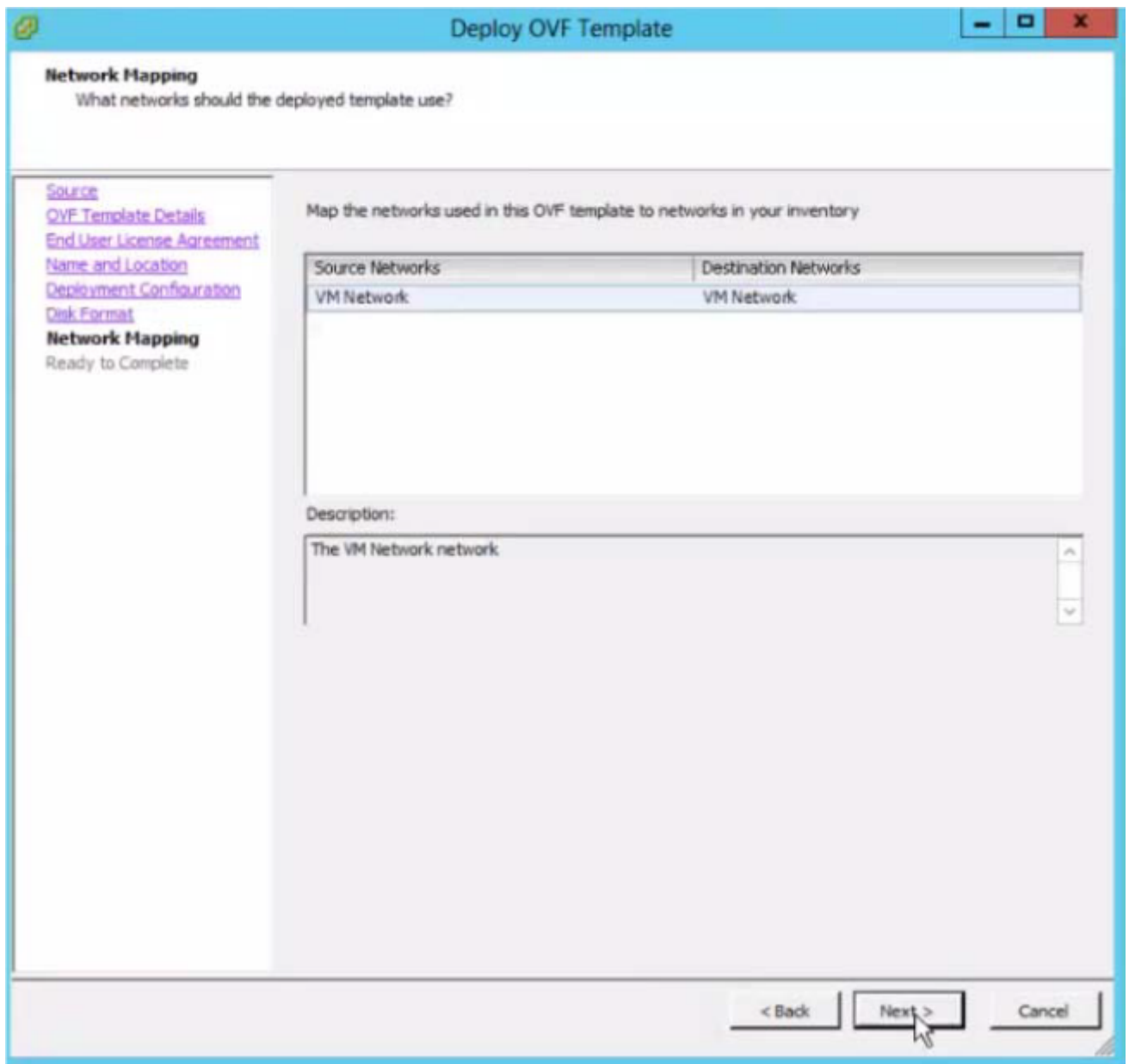


11. Next をクリックして続けます。

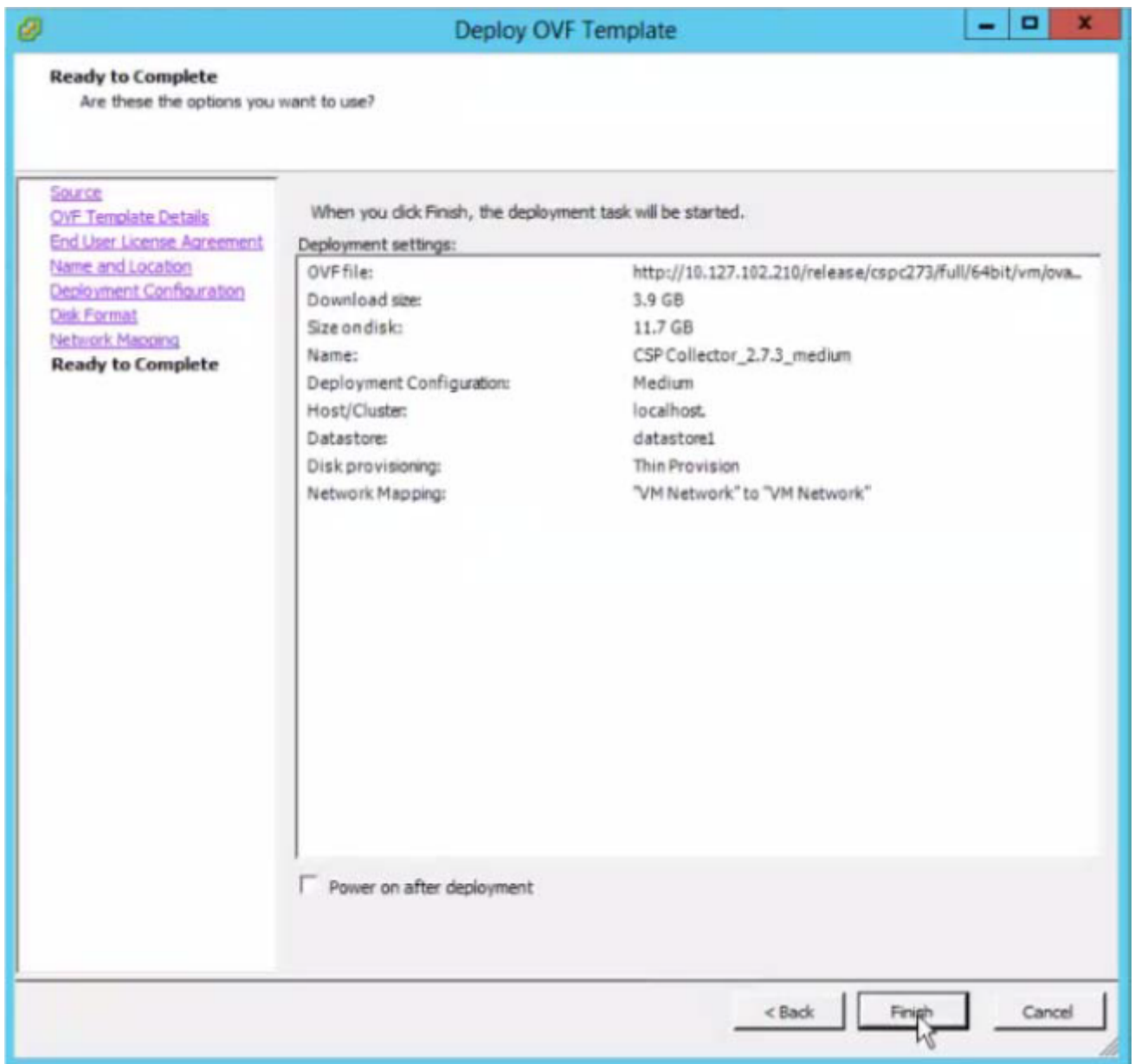




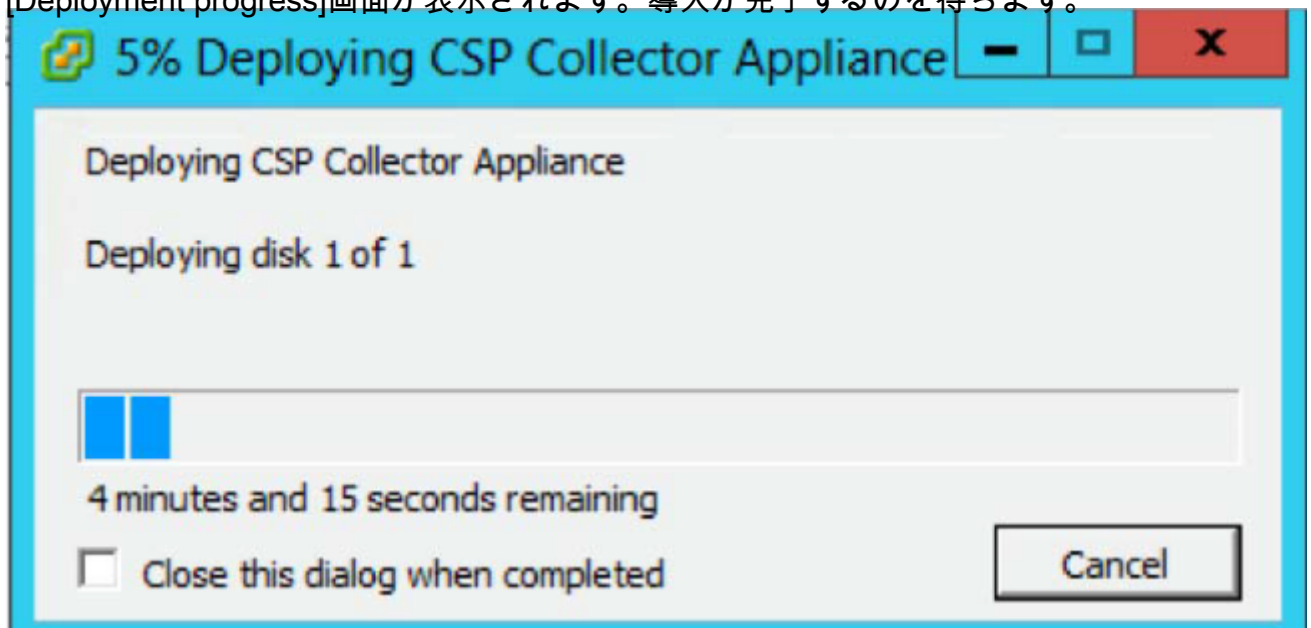
12. ネットワークの使用状況をマップし、[Next] をクリックします。



13. [Power on after deployment] を選択し、[Finish] をクリックします。

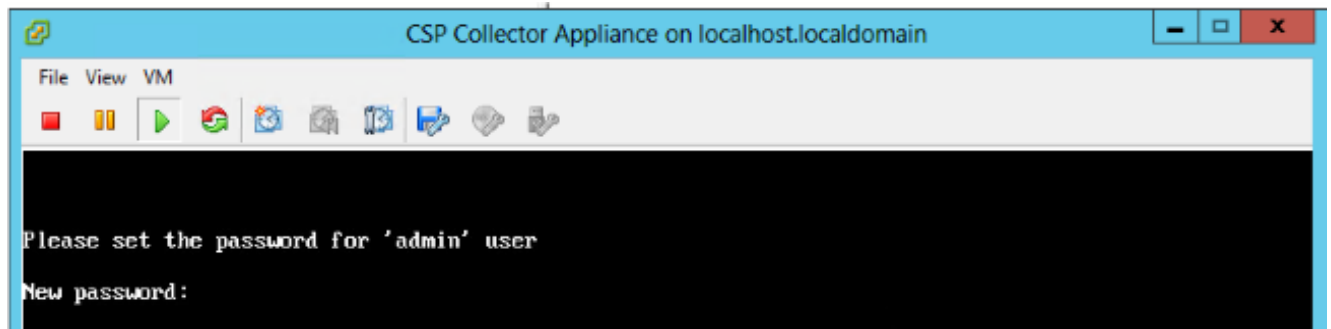


[Deployment progress]画面が表示されます。導入が完了するのを待ちます。



CSPC OVAのインストールが成功したら、IPアドレスを設定する必要があります。

1. 新しくインストールされたCSPC OVAをクリックします。



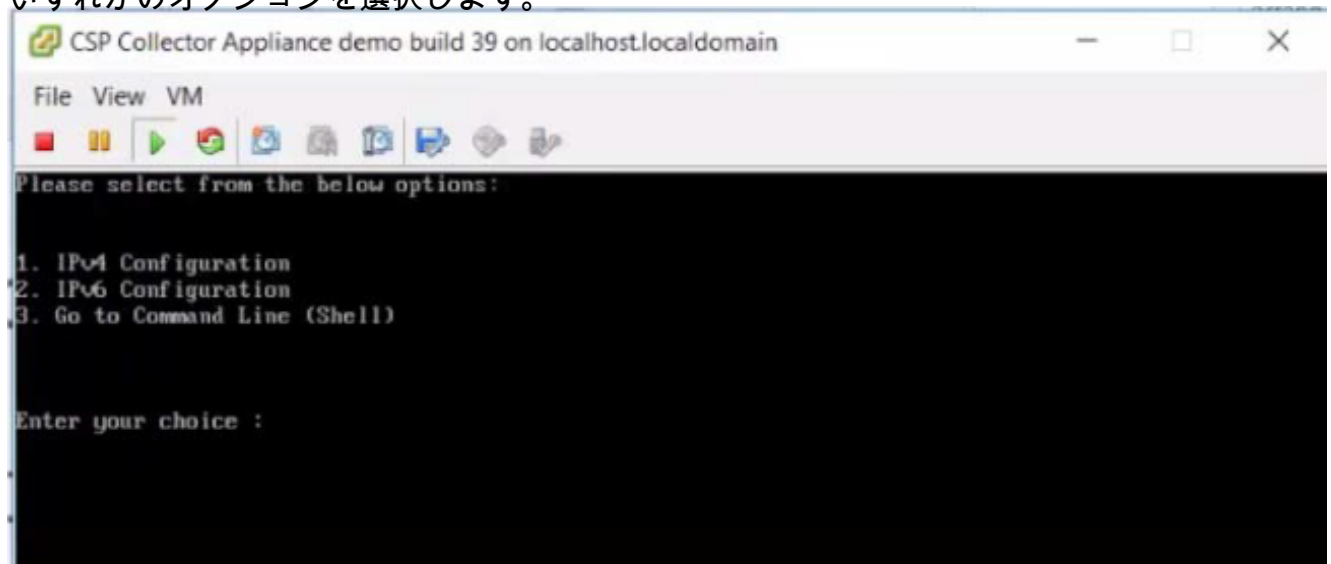
パスワードの入力を求められます。最初にパスワードを入力し、パスワードを確認します。

注：以下の画面はすべて説明用であり、実際の画面ではありません。

パスワードを入力すると、メニューまたはコマンドシェルプロンプトからIPを設定できるようになります。

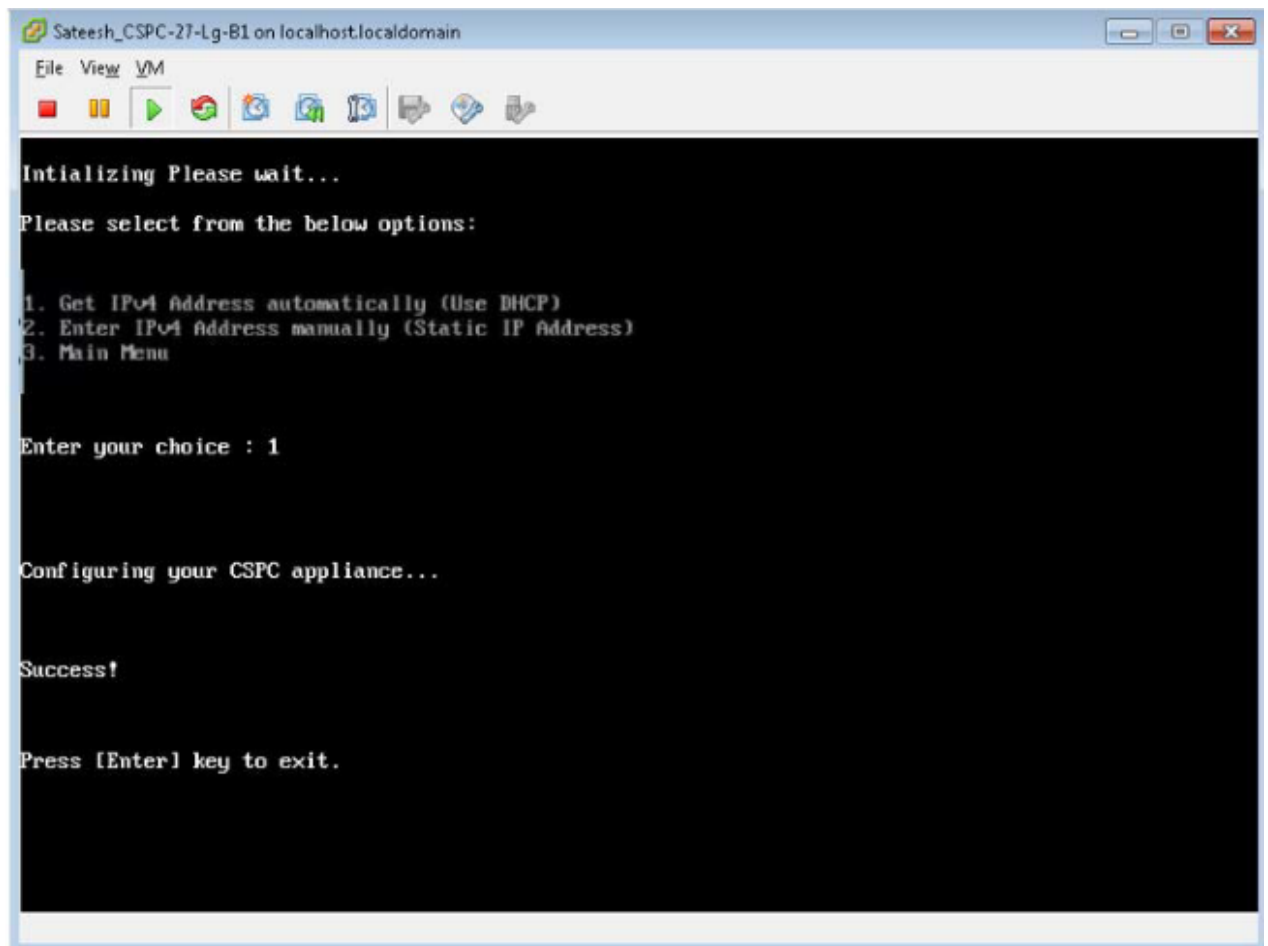
IPアドレスの設定に使用する方法に関係なく、管理シェルに接続してcollectorloginユーザとrootユーザを初期化してください。

2. いずれかのオプションを選択します。

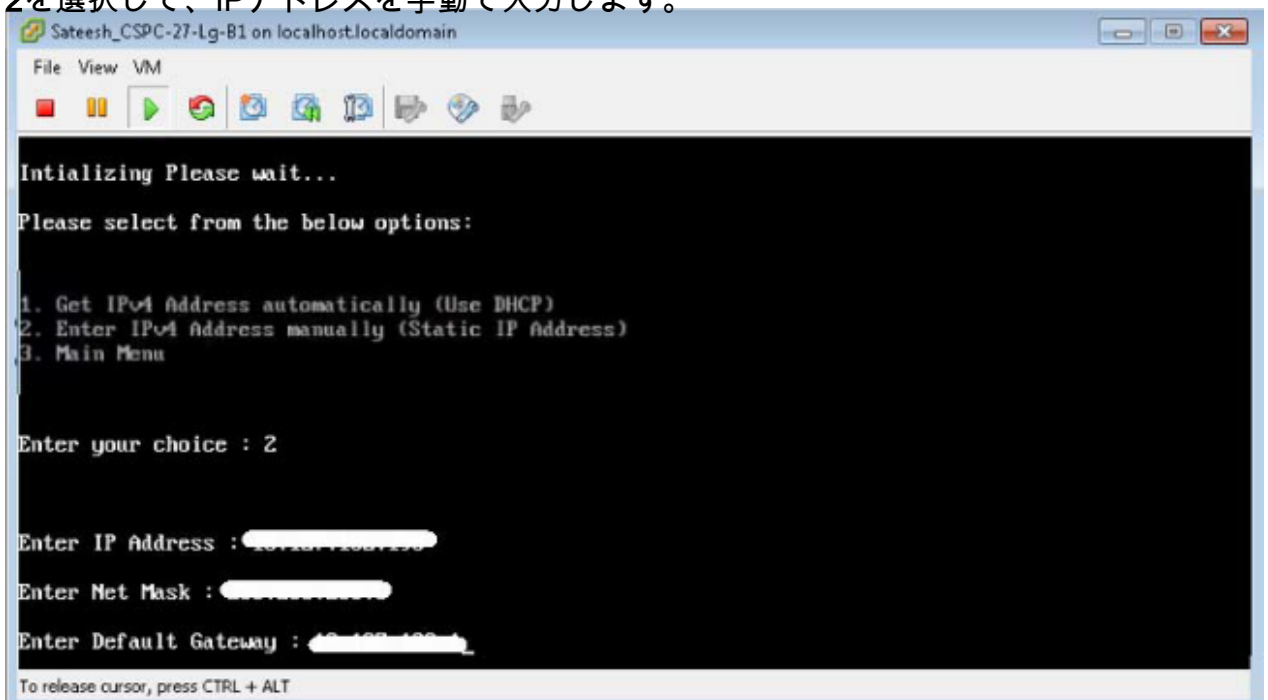


## IPv4アドレスの設定

1. IPv4アドレスを設定するには、1を選択します。
2. 表示されたオプションのいずれかを選択します。
  - IPアドレスを自動的に取得するには、1を選択します。



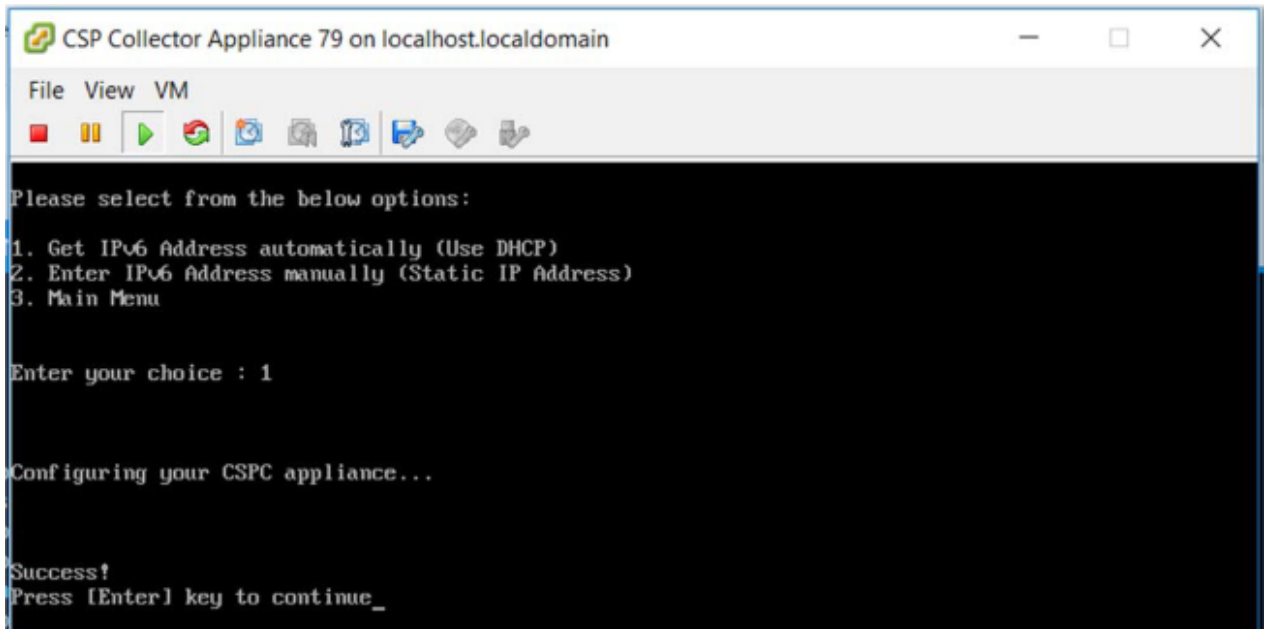
- 2を選択して、IPアドレスを手動で入力します。



- 3を選択して、メインメニューに戻ります。

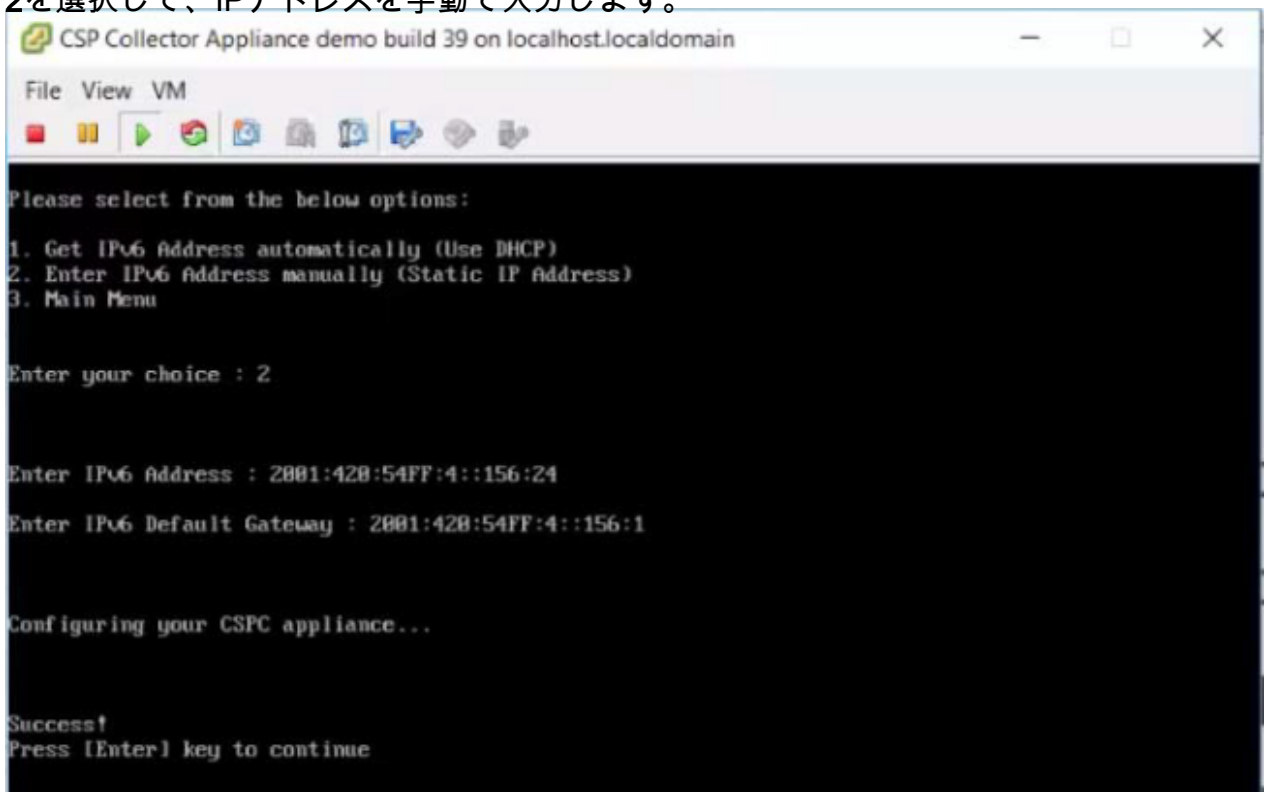
## IPv6アドレスの設定

1. IPv6アドレスを設定するには、2を選択します。
2. 表示されたオプションのいずれかを選択します。
  - IPアドレスを自動的に取得するには、1を選択します。



```
CSP Collector Appliance 79 on localhost.localdomain
File View VM
Please select from the below options:
1. Get IPv6 Address automatically (Use DHCP)
2. Enter IPv6 Address manually (Static IP Address)
3. Main Menu
Enter your choice : 1
Configuring your CSPC appliance...
Success!
Press [Enter] key to continue_
```

- 2を選択して、IPアドレスを手動で入力します。



```
CSP Collector Appliance demo build 39 on localhost.localdomain
File View VM
Please select from the below options:
1. Get IPv6 Address automatically (Use DHCP)
2. Enter IPv6 Address manually (Static IP Address)
3. Main Menu
Enter your choice : 2
Enter IPv6 Address : 2001:428:54FF:4::156:24
Enter IPv6 Default Gateway : 2001:428:54FF:4::156:1
Configuring your CSPC appliance...
Success!
Press [Enter] key to continue
```

- 3を選択して、メインメニューに戻ります。

## シェルでのIPアドレスの直接設定

1. 3を選択して、コマンドライン ( シェル ) を表示します。

注 : IPを設定できるのはadminユーザだけです。IPを設定する前に、adminユーザとして切り替えてください。

2. コマンド `Conf ip -v4 eth0` または `Conf ip -v6 eth0` を入力し、図に示すようにIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。

```

admin# conf ip *
-----
Usage:
admin# conf ip <type> <intf> <ipaddr> <netmask> <gateway>
admin# conf ip -v4 <intf> <ipaddr> <netmask> <gateway>
admin# conf ip -v6 <intf> <ipaddr/prefix> <gateway>
where prefix should be between 1 and 128
Eg:
admin# conf ip -v4 eth0 192.168.155.2 255.255.255.0 192.168.155.1
admin# conf ip -v6 eth0 2001:420:54ff:4::156:17/24 2001:420:54ff:4::156:1
-----
admin#

```

### 3. IPアドレスの設定を確認します。

```
# show ip
```

## 既定のアカウントを有効にする

パスワードを最初に設定またはリセットするには、次のコマンドを使用します。

#### 1. Linuxユーザログイン「collectorlogin:」を有効にします。

```
# pwdreset collectorlogin 90
```

これにより、ユーザ名「collectorlogin」のパスワードが生成されます。

#### 2. Linuxルートログインを有効にします。

```
# pwdreset root 90
```

これにより、ユーザ名「root」のパスワードが生成されます。

#### 3. ルートに接続するには、最初にcollectorloginプロンプトに接続してから、コマンド`su root`を使用します。

```
$ su root
```

**注：** collectorloginとrootの両方のパスワードを安全でアクセス可能な場所に保存してください。

rootに直接接続することはできません。ユーザrootに直接接続しようとする、そのアカウントがロックされます。

```

=====
Cisco Network Appliance Administration
=====

To see the list of all the commands press '?'
admin# pwdreset collectorlogin 90

Password for 'collectorlogin' reset to - Bqsxjfg4+ successfully
Password expires in 90 days
Shell is enabled
passwd: all authentication tokens updated successfully

*** Please memorize the new password ***
Lost passwords cannot be recovered. The only alternative to recover is to reinstall the server.

admin# pwdreset root 90

Password for 'root' reset to - Cdptfsu3+ successfully
Password expires in 90 days
Shell is enabled
passwd: all authentication tokens updated successfully

*** Please memorize the new password ***
Lost passwords cannot be recovered. The only alternative to recover is to reinstall the server.

admin#

```

注：これで、SSHを使用するか、またはブラウザのアドレスを使用してサーバに接続できます

https://<コレクタのIPアドレス>:8001

adminシェルには追加のコマンドがあります。これらを表示するには、次の手順を実行します。

# ?

## ESXiパッチインストール

### 前提条件

- アップグレードに進む前に、すべての仮想マシンの電源がオフになっていることを確認してください。
- ESXi 5.xからESXi 6.xにアップグレードすると、古い5.xライセンスキーが削除され、ESXiのVMに6.xライセンスキーを追加する必要があります。

### ESXi 6.0のアップグレード

1. コレクタアプライアンスにadminとしてログインします。
2. ESXiの更新を確認するには、次のコマンドを実行します。  
`#check update esxi`
3. ESXiパッチをダウンロードするには、次のコマンドを実行します。  
`#download jeos-100.0.6-0-lnx64`
4. ダウンロードステータスを確認するには、次のコマンドを実行します。  
`#show download`
5. パッチが/opt/LCM/tmpにダウンロードされたら、パッチを解凍し、  
Read\_me\_ESXI\_6.0U3\_and\_6.0\_patch\_build\_9313334.docxの指示に従います

## CSR1000V NAT OVAのインストール

### 前提条件

CSR1000Vの導入を開始する前に、次に示すすべてのものがが必要です。

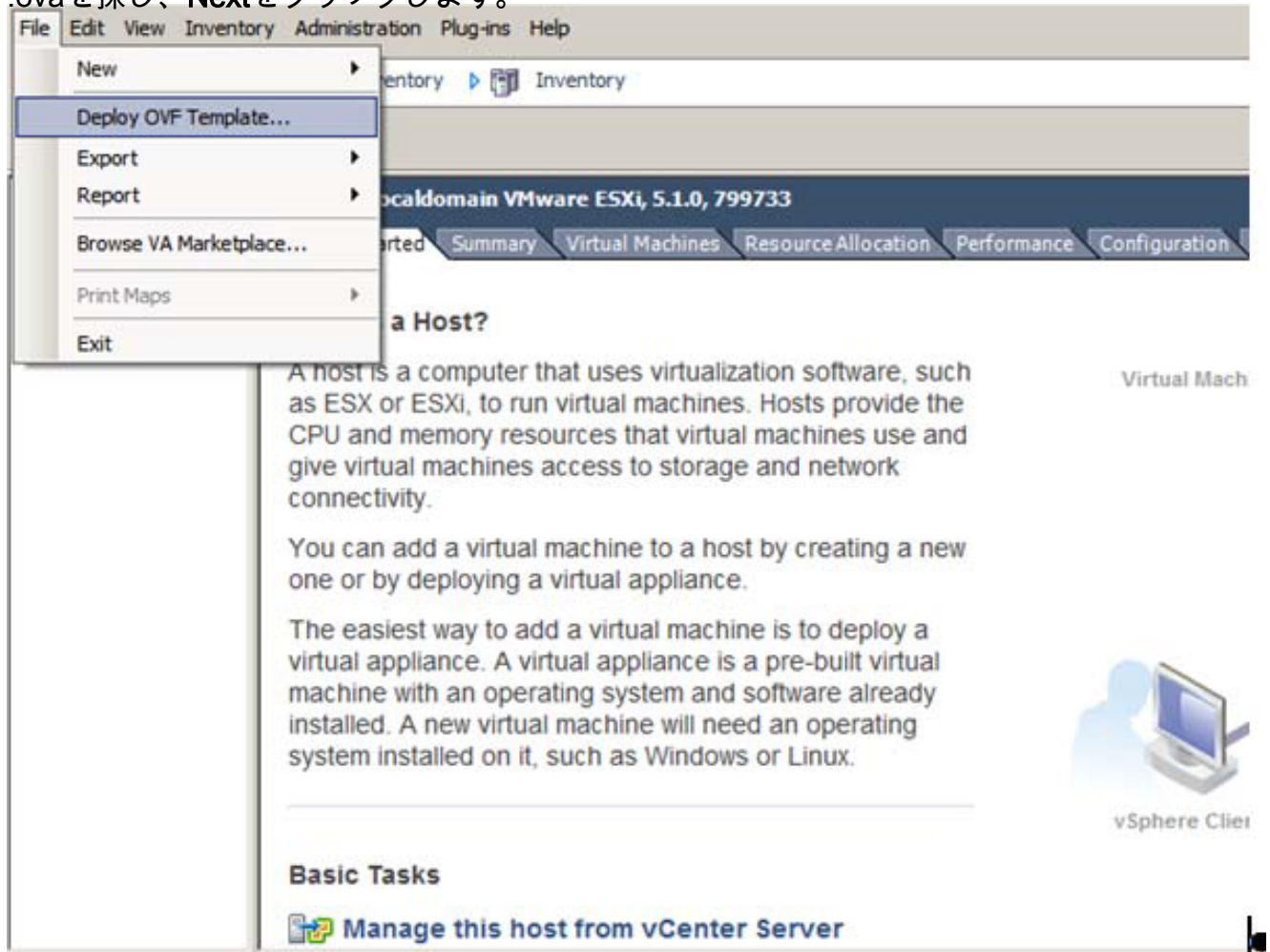
- ESXiログインIPおよびクレデンシャル。
- 既存のNATルータ/Pfsense VMログインIPとクレデンシャル。
- 置き換えが必要な古いNATルータVM上のNATルールおよびその他のカスタマイズされた設定のコピー。
- ESXiに接続するためのvSphereクライアント。
- CSR1000V CSPC NAT OVAは、ローカルまたはネットワーク上で導入できます。OVAのデフォルトのクレデンシャル。

このセクションでは、VMWare vSphere Clientを使用してCSR1000V CSPC NAT OVAを導入する手順について説明します。

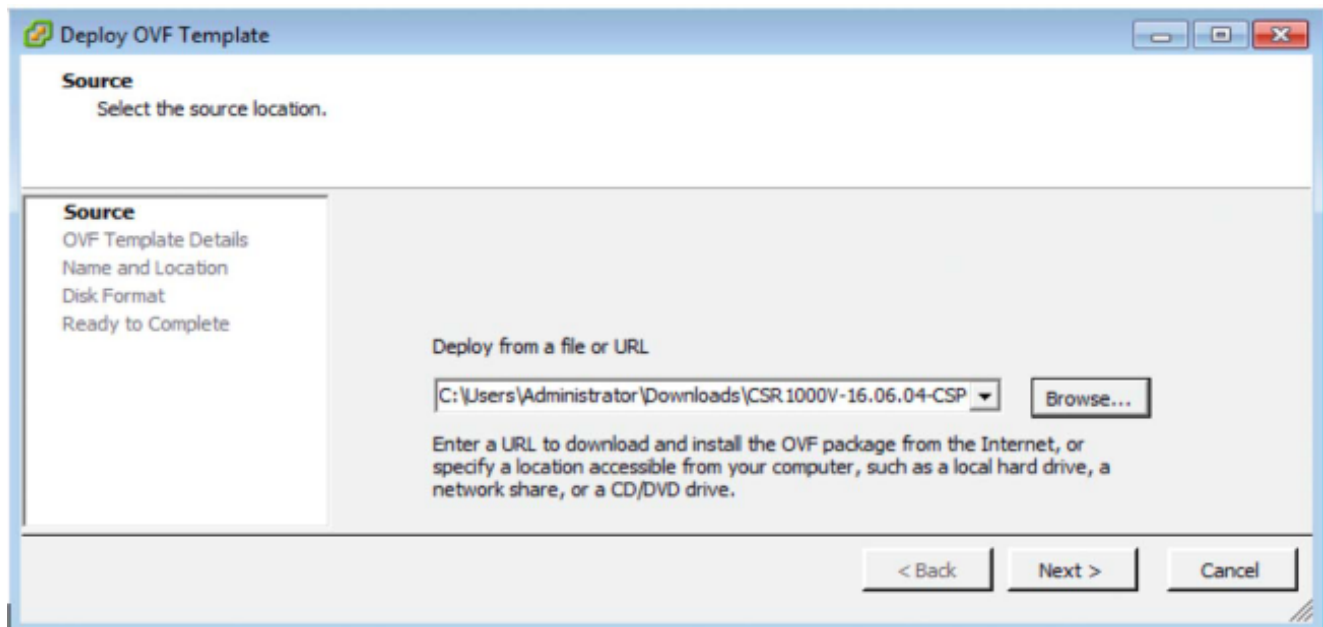
1. vSphereクライアントが使用可能なWebサーバまたはローカルファイルシステムにxxx.ovaファイルを取得します



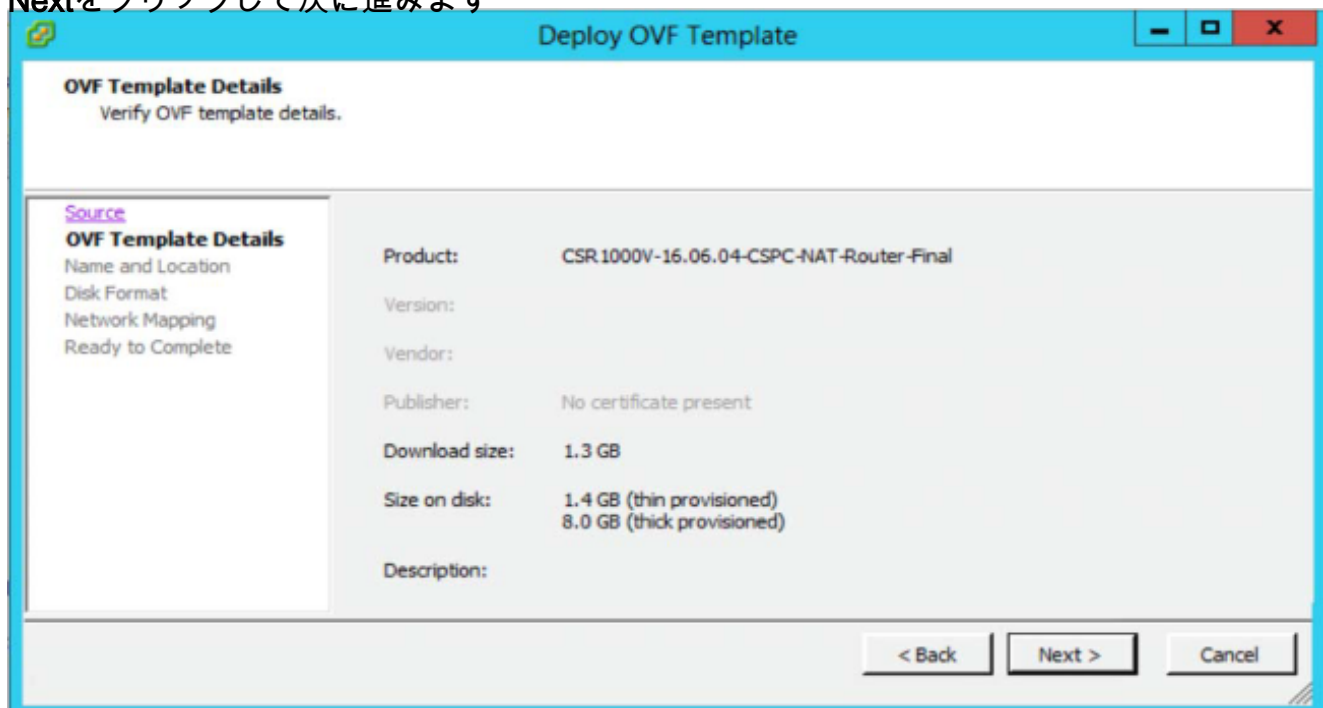
2. vSphereクライアントを起動し、OVAファイルを展開する権限を持つクレデンシャルを使用してログインします
3. vSphereクライアントを使用して、NAT仮想マシンを管理するESXiホストまたはIPアドレスを選択します
4. vSphereクライアントを使用し、[File]メニューを選択してから、[File]メニューに表示される[Deploy OVF Template...]メニュー項目を選択します。
5. ファイルエクスプローラを使用して、ローカルにあるOVAファイルを選択します。このオプションを使用する場合は、**Browse...**をクリックし、ファイルエクスプローラでファイルxxx.ovaを探し、**Next**をクリックします。



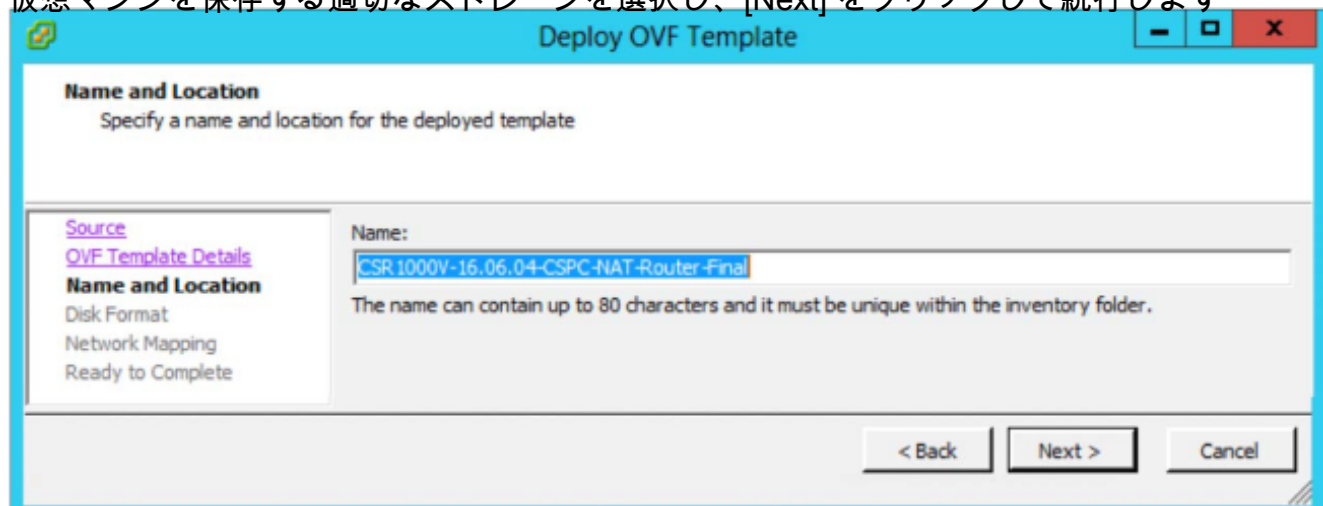
6. URLを参照して選択し、[Next] をクリックして続行します



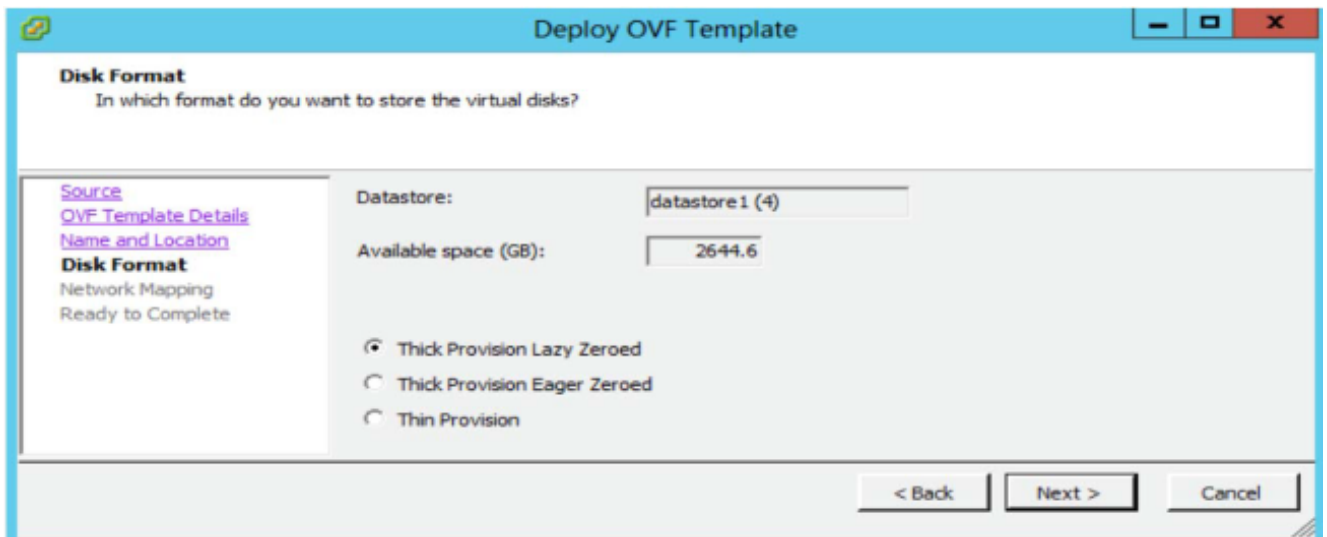
7. **Next**をクリックして次に進みます



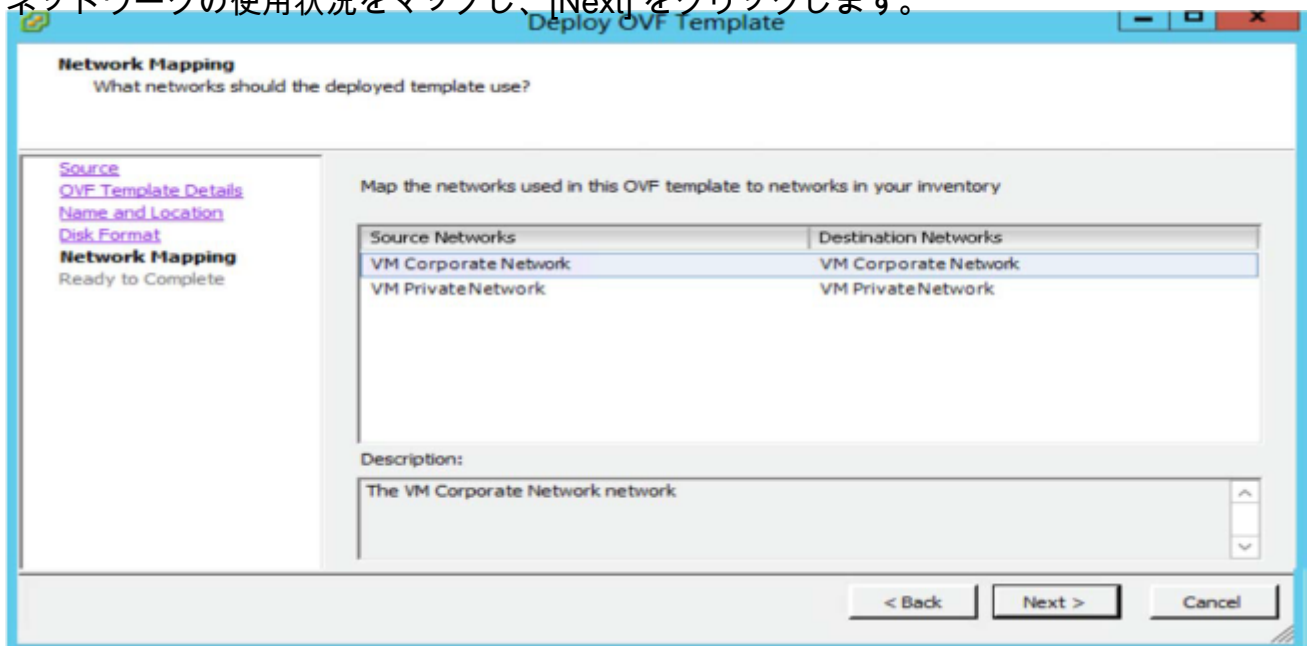
8. 仮想マシンを保存する適切なストレージを選択し、[Next] をクリックして続行します



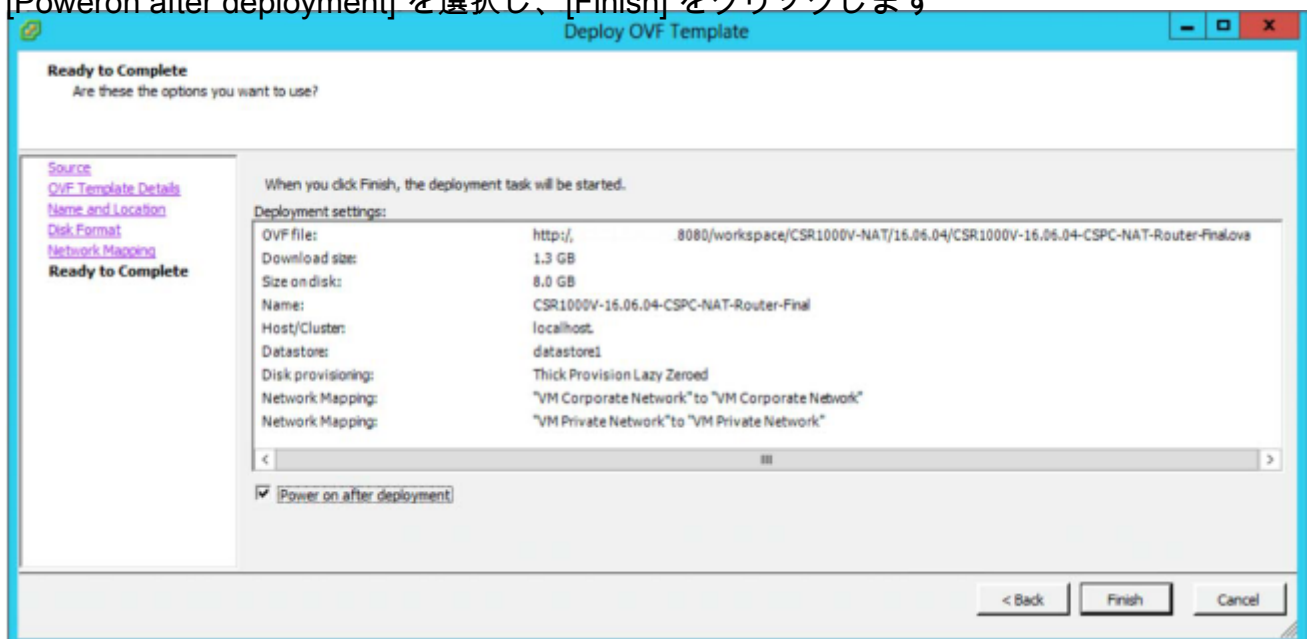
9. **Next**をクリックして次に進みます



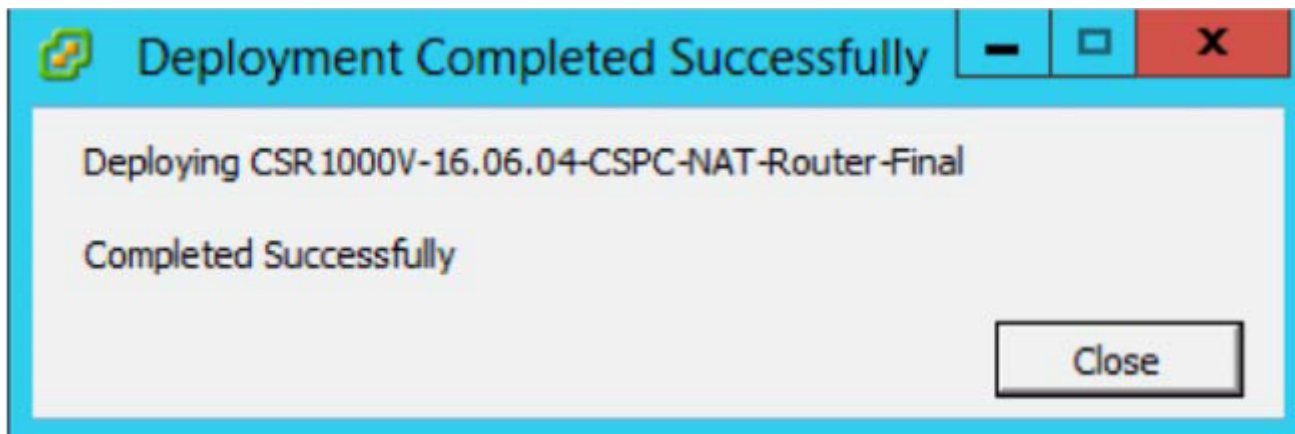
10. ネットワークの使用状況をマップし、[Next] をクリックします。



11. [Power on after deployment] を選択し、[Finish] をクリックします



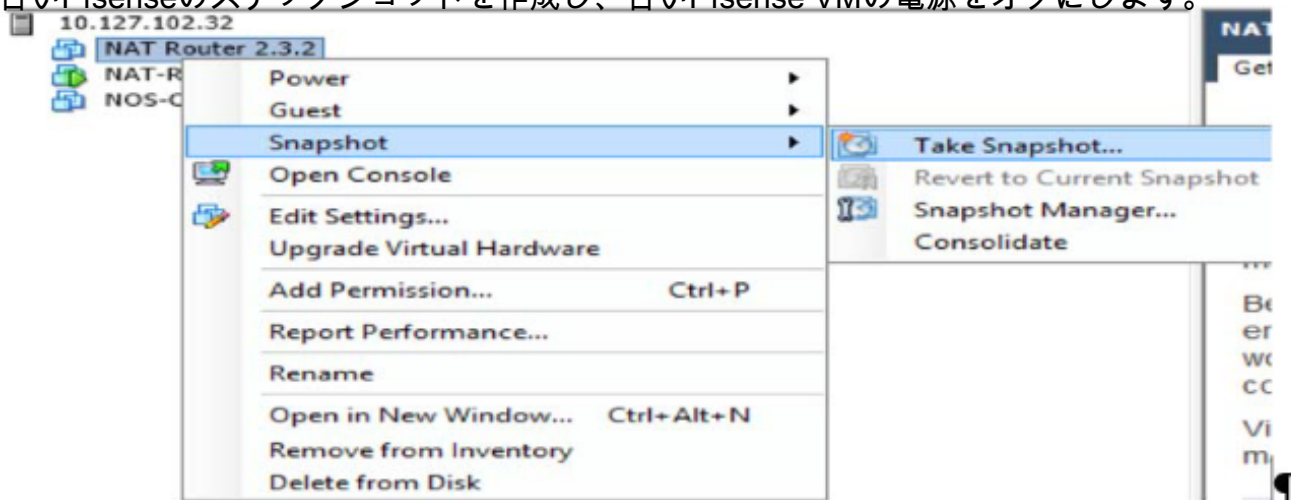
12. 展開が完了しました。[Close] をクリックします。



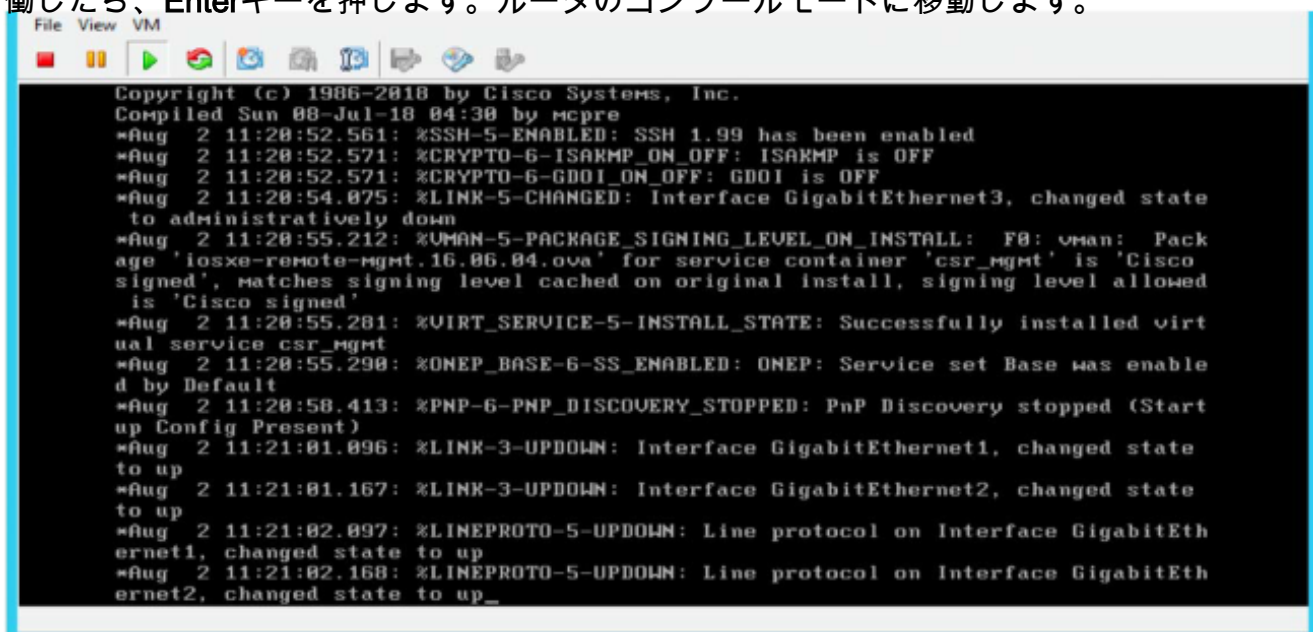
OVAのインストールが成功したら、CSR1000V CSPC NAT OVAを設定する必要があります。

CSR1000V CSPC NAT OVAを設定するには、次の手順を実行します。

1. 古いPfsenseのスナップショットを作成し、古いPfsense VMの電源をオフにします。



2. 新しいCSR1000V VMを右クリックし、[Open Console] を選択します。ルータが起動して稼働したら、Enterキーを押します。ルータのコンソールモードに移動します。



3. ルータコンソールモードで、enと入力し、Enterキーを押して、デフォルトパスワード XXxxXXを入力します (デフォルトパスワードについては、CSPCサポートにお問い合わせください)。

```
File View VM
*Aug 2 11:20:54.075: %LINK-5-CHANGED: Interface GigabitEthernet3, changed state
to administratively down
*Aug 2 11:20:55.212: %UMAN-5-PACKAGE_SIGNING_LEVEL_ON_INSTALL: F0: uman: Pack
age 'iosxe-remote-mgmt.16.06.04.ova' for service container 'csr_mgmt' is 'Cisco
signed', matches signing level cached on original install, signing level allowed
is 'Cisco signed'
*Aug 2 11:20:55.281: %VIRT_SERVICE-5-INSTALL_STATE: Successfully installed virt
ual service csr_mgmt
*Aug 2 11:20:55.290: %ONEP_BASE-6-SS_ENABLED: ONEP: Service set Base was enable
d by Default
*Aug 2 11:20:58.413: %PNP-6-PNP_DISCOVERY_STOPPED: PnP Discovery stopped (Start
up Config Present)
*Aug 2 11:21:01.096: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1, changed state
to up
*Aug 2 11:21:01.167: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet2, changed state
to up
*Aug 2 11:21:02.097: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEth
ernet1, changed state to up
*Aug 2 11:21:02.168: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEth
ernet2, changed state to up
CSR1000U>
CSR1000U>en
Password:
% Password: timeout expired!
Password: _
```

4. `conf t`と入力すると、ルータのconfigure terminalモードに移動します。
5. `int gi1`と入力し、wanインターフェイスコンフィギュレーションモードに移行します。  
(IPアドレスとネットマスクを提供)

```
ip address <ipaddress> <netmask>
no shutdown
exit
```

6. コンフィギュレーションモードでデフォルトゲートウェイとデフォルトルーティングを指定し、設定を終了して保存します。

```
ip default-gateway
ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 <IP>
exit
```

```
wr mem
CSR1000U#
CSR1000U#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
CSR1000U(config)#int gi1
CSR1000U(config-if)#ip address [redacted]
CSR1000U(config-if)#no shutdown
CSR1000U(config-if)#exit
CSR1000U(config)#ip default-gateway [redacted]
CSR1000U(config)#ip route 0.0.0.0 0.0.0.0 [redacted]
CSR1000U(config)#exit
CSR1000U#wr mem
Building configuration...
[OK]
CSR1000U#_
```

7. 設定を確認するには、`sh run`
8. CSR1000VルータはIPで設定され、WEB UIからアクセス可能です。URL `http://<IP Address>`、ユーザ名 `root`、パスワード `XXxxXX`でWEB UIにログインします (パスワードについてはCSPCサポートにお問い合わせください。CLIとUIは同じパスワードを使用します)。



注：このCSR1000VルータOVAには、ESXIコンソールから、またはプライベートネットワークVMからのTelnetを使用したCLIからのみアクセスできます。（CLIを使用してCSPCまたはそのホスト上の他のVMにログインし、CSR1000V IPまたは192.168.1.1にTelnetする必要があります）

```
-----
ssh collectorlogin@192.168.1.1
*****

CSP Collector

Please use below url to access CSP Collector appliance GUI
IPv4 URL : https://192.168.1.1

-----
[Password:
Warning: your password will expire in 87 days
Last login: Thu Aug  2 17:31:24 2018 from 192.168.1.1
#####
[collectorlogin@msda172 ~]$ telnet 192.168.1.1
Trying 192.168.1.1...
Connected to 192.168.1.1.
Escape character is '^]'.

User Access Verification

[Username: root
[Password:
[CSR1000V#
CSR1000V#
```

CSR1000Vルータの設定が完了すると、CLIおよびUIからCSPCおよびその他のVMにアクセスできるようになります。

## CSR1000vのアップグレード

CSR1000Vをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. 新しいCSR1000vシステムイメージ(xxx.bin)をbootflash:ディレクトリにインストールされて工場から出荷されます。
2. dir bootflash: コマンドを発行して、ブートフラッシュ内のすべてのファイルとディレクトリのリストを表示します。  
例：Router# dir bootflash:
3. configure terminal コマンドを実行して、グローバルコンフィギュレーションモードに入ります。  
例：

```
Router# configure terminal
```

```
Router(config)#
```

4. `no boot system` コマンドを実行して、ブート可能なイメージリストのすべてのエントリを削除します。これは、次のシステムリロードまたは電源の再投入時にルータがシステムイメージをロードする順序を指定します。

例：Router(config)# no boot system

5. `boot system bootflash:<system-image-filename>.bin` コマンドを実行して、次のシステムリロードまたは電源の再投入後に新しいシステムイメージをロードします。以下に、いくつかの例を示します。

例：Router(config)# boot system

```
bootflash:<system-image-filename>.bin
```

6. `exit` コマンドを実行して、グローバルコンフィギュレーションモードを終了します

例：

```
Router(config)# exit
```

```
Router#
```

7. `write` または `write memory` コマンドを実行して、ブートフラッシュディスクで使用可能なイメージのGRUBメニューリストを更新します。

例：Router#write memory

8. `show version` コマンドを実行して、コンフィギュレーションレジスタの設定を表示します。

例：

```
Router#show version
```

```
Cisco IOS XE16.06.04
```

```
...
```

```
Cisco Internetwork Operating System Software...
```

```
...
```

```
...
```

```
Configuration register is 0x2102
```

```
Router#
```

9. コンフィギュレーションレジスタの上記の出力の最後の数字が0または1の場合、次のステップ10に進みます。コンフィギュレーションレジスタの最後の数字が2 ~ Fの場合は、[ステップ13](#)に進みます。

10. `configure terminal` コマンドを実行して、グローバルコンフィギュレーションモードに入ります。

例：

```
Router# configure terminal
```

```
Router(config)#
```

11. `config-register 0x2102` コマンドを実行してコンフィギュレーションレジスタを設定し、次のシステムリロードまたは電源の再投入後に、ルータがスタートアップコンフィギュレーションファイルの`boot system` コマンドからシステムイメージをロードするようにします。

例：Router(config)# config-register 0x2102

12. `exit` コマンドを実行して、グローバルコンフィギュレーションモードを終了します

例：

```
Router(config)# exit
```

```
Router#
```

13. `copy running-config startup-config` コマンドを実行して、実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

例：Router#copy running-config startup-config

14. `write memory`コマンドを実行して、ブートフラッシュディスクで使用可能なイメージのGRUBメニューリストを更新します。  
例：`Router#write memory`
15. `reload`コマンドを実行して、オペレーティングシステムをリロードします。  
例：`Router#reload`
16. システム設定の保存を求めるプロンプトが表示されたら、`no`  
例：  
`Save?[yes/no]:no`
17. リロードを確認するプロンプトが表示されたら、`y`と入力します  
例：  
`Proceed with reload?[confirm] y`
18. `show version`コマンドを実行して、ルータが適切なシステムイメージをロードしたことを確認します。  
例：  
`Router#show version`  
`Cisco IOS XE16.09.02`  
`Cisco IOS[Fuji].....`  
`...`  
`System returned to ROM by reload`  
`bootflash:csr1000v-xxx`  
`Last reload reason:...`

## CIMCパッチインストール

1. コレクタアプライアンスにadminとしてログインします。
2. CIMCの更新を確認するには、次のコマンドを実行します。  
`#check update cimc`
3. CIMCパッチをダウンロードするには、次のコマンドを実行します (M3サーバ)。  
`#download jeos-101.0.3-0-lnx64`
4. CIMCパッチをダウンロードするには、次のコマンドを実行します (M4サーバ)。  
`#download jeos-101.0.4-0-lnx64`
5. ダウンロードステータスを確認するには、次のコマンドを実行します。  
`#show download`
6. パッチが `/opt/LCM/tmp` にダウンロードされたら、パッチを解凍し、`Read_me_CIMC_3.0(4i).docx`の指示に従います

## NOS設定者

### nos\_configurerのインストールシーケンス

注：これはNOS専用です。

このセクションでは、CSPC 2.8に`nos_configure_2.8`をインストールする方法、およびNOS固有の機能に対してCSPCを設定する方法について説明します。

注：NOSの設定ツールであるRIアドオンは、`$CSPCHOME/installer/manual`フォルダにある手動でインストールする必要があります。



CSPC 2.8のnos設定には更新はありません。したがって、次の同じ手順を実行できます。

注：これは新規のnosインストール用です。

次のタスクを実行します。

1. NOS機能を実行するジョブをスケジュールする  
次のジョブがスケジュールされています：
  - 週次インベントリジョブ
  - 毎日のアップロードジョブ
  - 毎日のDAVジョブ
  - 毎日の正常性アップロードジョブ
2. 依存関係ルールを追加してデータの一貫性を維持

CSPC 2.8にnos\_configure\_2.8をインストールするには、次の手順に従います。

1. CSPCアプライアンスへのターミナルログイン
2. パス\$CSPCHOME/installs/manual
3. ファイルnos\_configuerr\_2.8.zipを解凍します。
4. 解凍すると、nos\_configurer\_2.8という名前のフォルダが作成されます
5. 次のコマンドを入力します。

1. cd nos\_configurer\_2.8
2. sh nos\_cspc\_2.8\_patch.sh <username> <pwd> <fullInventoryDay>  
<hourOfFullInventory> <hourOfUpload>

例：sh nos\_cspc\_2.8\_patch.sh <username> <pwd> 1 22 23

注：上記の3つのオプション引数を指定しなくても、インストーラをインストールできます。これにより、デフォルト値が1、23、23のサポートインストーラがインストールされます。

上記の例では、次のようになります。

1.7 =日曜日から土曜日

1...23 =1日の時間数。

6. 上記のコマンドをトリガーすると、ユーザ確認のプロンプトが表示されます。適宜提供してください。
  1. インストールを取り消して、追加の引数で再実行しますか？YまたはNと入力します。  
(y/n)?N
  2. インストールを取り消して、別のスケジュールの日時で再実行しますか？YまたはNと入力します。(y/n)?N
  3. 直ちにヘルスジョブをスケジュールしますか？ YまたはNを入力してください：(y/n)?  
Y
  4. インベントリ/DAV/アップロードジョブをすぐにスケジュールしますか？ YまたはNを入力：(y/n)?Y
  5. インベントリが実行されていないことを確認するためにサーバを再起動します。Do you want to continue?YまたはNと入力します。(y/n)?N

注：ジョブを今すぐスケジュールするか、後でスケジュールするかを選択できます。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。